

バンク・マンディリ(BMRI)

2018/12期3Q(1-9月)は貸出残高が同13.8%増、中央銀行は利上げサイクル維持へ
インドネシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG BMRI:IJ | REUTERS BMRI:JK

- 2018/12期3Q(1-9月)は、純金利収益が前年同期比5.1%増の42兆7,100億IDR、非資金収益が同11.4%増の18兆7,530億IDR、純利益が同20.1%増の15兆690億IDR。
- 貸出残高は同13.8%増の780兆1,000億IDR。大企業向け貸出やマイクロクレジット、個人向けローンを中心に伸長した。
- インドネシア銀行は11/15、市場予想に反し利上げを発表。12/20の会合では据え置きとなったが、利上げサイクルは維持されよう。

What is the news?

10/17発表の2018/12期3Q(1-9月)は、営業利益が前年同期比7.0%増の57兆4,600億IDR、純利益が同20.1%増の15兆690億IDRとなった。主力の保険料収入を含む純金利収益は同5.1%増の42兆7,100億IDR。純金利マージン(NIM)は前年同期の5.76%から10bp低下し5.76%となったものの、大企業向け貸出やマイクロクレジット(貧困層など一般の銀行から融資を受けられない人々を対象とした少額融資)、消費者向けローンを中心に貸出残高が伸びた。預貸率も上昇した。非資金収益も外国為替差益などが寄与し同11.4%増の18兆7,530億IDRと伸びた。経費率は前年同期の44.8%から59bp低下し44.2%となった。

貸出残高は前年同期比13.8%増の780兆1,000億IDR。貸出ポートフォリオの内訳は、大企業向けが同27.6%増の301兆4,000億IDR、中堅企業向けが同9.9%減の141兆9,000億IDR、消費者向けが12.7%増の85兆IDR、中小・零細企業(SME)向けが同6.8%減の55兆IDR、マイクロファイナンスが同27.1%増の97兆5,000億IDR、子会社向けが同20.1%増の96兆4,000億IDR。同社はリテールローン(中小・零細企業向け、マイクロクレジット、消費者向け)の残高の拡大に取り組んでおり、これらが貸出残高全体に占める割合は34.7%。大企業向け貸出が伸びた影響により、前年同期の34.9%からは低下した。グロスのNPL(不良債権率)は3.01%と前年同期の3.75%から低下した。預金残高は、法人向け取引の増加により同9.2%増の831兆2,000億IDRとなった。

How do we view this?

2018/12通期会社計画は、貸出残高が前期比11-13%の伸び、NIMが5.7-5.8%、グロスのNPL(不良債権率)が2.8-3.2%。インドネシア経済の会社前提は、2018年の経済成長見通しが5.2%、インフレ率見通しが3.6%。2019年は経済成長率が5.1%、インフレ率が4.5%である。2018/12通期市場予想は、当期利益が同16.8%増の24兆1,140億IDR。中央銀行であるインドネシア銀行は11/15の金融政策決定会合で、市場予想に反し政策金利を25bp引き上げて6.00%とした。利上げは2会合ぶりで2018年に入り6回目。12/20の会合では据え置きとなったものの必要に応じて通貨ルピアを防衛する方針を改めて示しており、利上げサイクルは維持されよう。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.0076円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
当期利益(十億IDR)	20,335	13,806	20,639	24,114	28,007
EPS(IDR)	435.75	295.86	442.28	516.59	597.80
PER(倍)	16.58	24.42	16.34	13.99	12.09
BPS(IDR)	2,508.65	3,224.01	3,572.55	3,862.65	4,232.24
PBR(倍)	2.88	2.24	2.02	1.87	1.71
配当(IDR)	130.72	133.13	199.03	216.85	235.61
配当利回り(%)	1.81	1.84	2.75	3.00	3.26

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

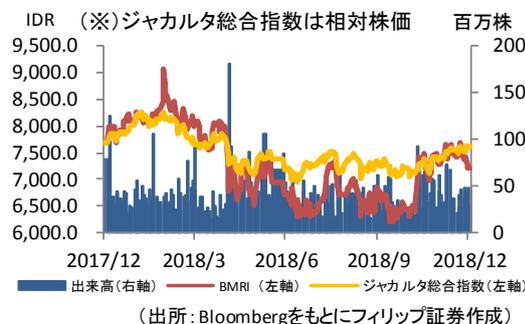
配当予想(IDR) **216.85** (予想はBloomberg)
終値(IDR) **7,225** 2018/12/21

会社概要

アジア通貨危機時にインドネシア政府により実施された銀行再編計画の一環として設立。1999年にBank Bumi Daya、Bank Dagang Negara、Bank Exim、Bapindoの4つの政府系金融と統合した。現在でも、インドネシア政府が60%の筆頭株主である。同社は、コーポレートバンキング、コマース&ビジネスバンキング、マイクロ&リテールバンキング、トレジャリー&国際金融、消費者金融の5つの戦略的事業ユニットを展開。投資銀行のMandiri Sekuritas、保険会社のAXA Mandiri Financial Services、イスラム銀行のSyariah Mandiri bank、マイクロバンキングを行うBank Sinar Harapan Bali、マルチファイナンス事業を行うMandiri Tunas Financeなどの子会社がある。2011年にはAXA Societe AnonymeとのジョイントベンチャーであるMandiri AXA General Insurance (MAGI)を買収し、損害保険事業を強化した。

企業データ(2018/12/26)

ベータ値	1.43
時価総額(十億IDR)	338,333
企業価値=EV(十億IDR)	-
3ヵ月平均売買代金(十億IDR)	290.2



主要株主(2018/12)	(%)
1.インドネシア共和国	60.00
2.ハリス・アソシエイツ	3.29
3.ブラックロック	2.27

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾
togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
+81 3 3666 6980
hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。